

2 神奈川大学とのジョイントワークショップの位置づけ

本COEでは、これまで様々な機関と共同研究を展開してきた。国外ではユネスコなどの国際機関や、主としてアジア地域の大学や政府機関などとの共同研究、シンポジウムなどを開催してきた。国内では、COEで災害・防災研究を行っている大学とシンポジウムを開いたし、本COEの主導で文化遺産の防災にかかわる諸機関で文化遺産防災連絡会議を組織し、平成17年1月には国連防災世界会議においてシンポジウムを開催した。

今回、神奈川大学とのジョイントワークショップは、本COEの中でも歴史学や地理学の方針のメンバーを中心に、「実態論・現象論」に関心をもつメンバーが中心になって開催する。人文・社会科学的な分野での共同研究はこれまでは小規模なものはあったが、本格的なものとしては今回が初の試みとなる。このため、直接関係するメンバーだけでなくCOE全体としても関心を寄せ、成果に期待している。

立命館大学・神奈川大学21世紀COEプログラム ジョイントワークショップ

「歴史災害と都市 京都・東京を中心に」

開催日程 2006年8月26日(土)・27日(日)

開催場所 クイーンズタワーA 5階会議室(〒220-6014 横浜市西区みなとみらい2-3-1)

参加
無料

先着申込
80名
まで

第1日目 8月26日(土)

プログラムスケジュール

第2日目 8月27日(日)

13:00~13:10 開会挨拶
吉越 昭久(立命館大学)
村橋 正武(立命館大学COE拠点リーダー)
福田 アジオ(神奈川大学COE拠点リーダー)
趣旨説明
北原 糸子(神奈川大学)

1部 都市の歴史と災害復元

13:10~13:40 平安京の地形環境と災害
河角 龍典(立命館大学)

13:40~14:10 平安京の祭礼と災害
片平 博文(立命館大学)

14:10~14:40 公家町の火災と防災
冷泉 為人(財・冷泉家時雨亭文庫)

14:40~15:00 休憩

15:00~15:30 近世京都の火災と復興
鈴木 栄樹(京都薬科大学)

15:30~16:00 3次元でみる京都の景観と災害
中谷 友樹(立命館大学)

16:30~17:00 質疑応答

2部 関東大震災と社会

10:00~10:30 関東大震災の写真と地図のデータベース
諸井 孝文(鹿島建設)
北原 糸子(神奈川大学)

10:30~11:00 関東大震災の救済
鈴木 淳(東京大学)

11:00~11:30 関東大震災後の社会
佐藤 健二(東京大学)

11:30~13:00 昼食

3部 歴史災害と現代

13:00~13:30 絵画を活用した防災 三河地震を素材として
林 能成(名古屋大学)
木村 玲欧(名古屋大学)

13:30~14:00 文化財と災害痕跡
桂 雄三(文化庁)

14:00~14:30 日常のなかの災害認識
香月 洋一郎(神奈川大学)

14:30~14:40 休憩

4部 討論(司会:吉越昭久・北原糸子) 14:40~16:40

(プログラムの内容については変更になる場合がございます)

申込
方法

ハガキ・FAX・Eメールにて以下の情報を記載の上お申込下さい。

参加希望日 氏名 住所 電話番号 所属機関

記載された個人情報は注意をもって管理し、ジョイントワークショップの円滑な運営のために活用させていただきます。

申込先

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学COE支援事務室 FAX:045-491-0659 E-mail:himoji-coe@kanagawa-u.ac.jp

*問合せ TEL:045-481-5661(内線3532)